

# おにぐるみ通信

おにぐるみの学校では、木の岡地区に残された貴重なビオトープを次世代に残していくために、このビオトープを守る活動を行っています。

このニュースレターは、「木の岡ビオトープ」や、「おにぐるみの学校」の活動をより多くの人に知っていただくために、定期的に発行するものです。

## 春の自然観察会 (R7年3月9日)

### ◆植物の芽に 春の息吹を感じました！



木の岡ビオトープ

寒い日が続いたために、待ちかねていた早春を感じる観察会となりました。

植物の観察では、「おいしそうな匂いがする！」と葉っぱを手でこすりながら、うれしそうな参加者です。ヨッシーの自然教室では、玉ねぎの皮を使って、ハンカチを染めました。ビー玉を包んで縛ったところが白く残り、偶然にできる模様に笑顔がこぼれました。

その後野草の天ぷらを手に、暖かい日差につつまれた自然の中で、のんびりと過ごされました。



令和6年度の活動は(一社)近畿建設協会の支援を受けて実施しています。

## 下阪本小学校の自然観察会 (R7年5月9日)

### ◆環境学習の出発点として…自分で見つける「すごいな！なぜかな？」

♡お礼の手紙をいただきました♡

下阪本小学校5年生の校外学習として、グループごとに、土の中の生き物観察と、新聞記者となってビオトープ内探索を実施しました。

交代しながら大きなスコップを手に土を掘り返し、その中から生き物を見つけます。石の下には、たくさんの生き物が隠れていたようです。また、ビオトープの中で、驚いたことやなぜだろうと思うことを記事にしました。友達と一緒に楽しく活動していました。

下阪本小学校の近くにある貴重な自然環境下での活動が、今後の環境学習の深まりにつながることを期待しています。



## 夏の自然観察会 (R7年7月13日)



### ◆昆虫の興味あるお話！コウノミで紙づくりをしました！！

散策路を歩くと昆虫が頭上を舞うように飛んでいきます。子ども達は見つけるのがとても上手で、捕まえた生き物を丁寧にかごに入れ、大切にしていました。講師に笑顔で名前を尋ねる姿が印象的でした。また、ヨッシーの自然教室では、コウノミを使って和紙作りをしました。絡まったコウノミを手で広げるのに苦戦しながらも作業を楽しめました。ビオトープでその日の朝に摘んだ野草の天ぷらを提供しました。召し上がった方から、本当においしかったですと、感想をいただきました。



## 水鳥の観察会 (R7年12月7日)

### ◆水鳥どこにいるかなぁ！ 小枝を使ってミニイーゼルづくり！

講師に双眼鏡の使い方を教えていただき、水鳥の観察をしました。水鳥が逃げないように姿を隠して観察です。ゆらゆらと水面に浮かぶ水鳥が見えました。講師の説明に感心したり驚いたり、水鳥への関心が高まりました。ヨッシーの自然教室では、小枝を使ってミニイーゼルづくりをしました。自然物の枝を組み合わせて、毛糸を巻いたり飾りつけたりして楽しめました。その後、ビオトープで摘んだ野草の天ぷらを取り分けました。参加者から、ちょっと酸っぱいけどスイバが気にいったと、感想をいただきました。



## おにぐるみの学校について

### ◆一緒に木の岡ビオトープを守りませんか？◆

おにぐるみの学校では、木の岡ビオトープにおいて、自然観察会の開催や除草・清掃などの活動を行っています。

木の岡ビオトープの保全・利用に向けたこれらの活動に理解・賛同し、活動に参加もしくは支援してくださる方の募集を行っています。

みんなで木の岡ビオトープの現状を理解し、地域に親しまれ、愛される場所としていくための活動に取り組んでみませんか？みんなの参加をお待ちしています。



**発行者** おにぐるみの学校事務局

(滋賀県土木交通部 流域政策局 河港事業室 河川環境係)

TEL:077-528-4154 FAX:077-528-4904 E-mail: kakoujigyou@pref.shiga.lg.jp

URL : <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/19181.html>



★◇★ 春,夏,水鳥の観察会は一か月前くらいから、参加者募集を始めます。★◇★